

子どもを苦しめる 親の支配

より良く育てようと思う余り、必要以上に子どもを管理したり、きつい言葉で責めたりすることがありませんか。今回は、子どもを支配するなどの弊害について考えてみましょう。



先生のご紹介

増田彰則

心療内科 増田クリニック

PROFILE

鹿児島市・増田クリニック院長。さつま町出身。内科学、心療内科を専攻。中でも疲労、痛み、うつ病、不登校、小児心身症、神経症などが専門です。

これは子どもが親から自立していくための通過点です。この時期に子どもを自分の思うように支配することは止めて、子どもの意思と行動を尊重してあげることが大事になります。

が良く、そうでなければ厳しい言葉で責め続けがちです。

子どもを抱えたお母さんは誰しも子育てで戸惑い、混乱することがあると思います。より良く育てようと思う余り、必要以上に子どもを管理したり、習い事を一杯させて子どもを振り回し、思うようにならないと子どもに苛立ち、きつい言葉で責めたりすることがありませんか。今回は子どもを支配することの弊害について考えてみましょう。



親の支配がもたらす弊害

子どもを支配するとは、親の意思で子どもの思考や行為を束縛することです。一般的な傾向として、父親の支配は威圧的で逆らわせないようにして、子どもを自分の支配下に置きます。それに対して、母親の支配は言葉巧みに「こうあるべきだ」と言って自分の思い通りに誘導する傾向があります。母親に理想の子ども像があり、子どもの希望とか意思を挟む余地を与えず、洋服や髪型、習い事、塾友だち選びなど全てに口を出して決めてしまいます。子どもが従順に従い自分の期待に込めると機嫌

親が支配的な態度をとり続けると成人後に苦労すると言われるています。アメリカの大学の先生が13歳の時から32歳になるまで追跡調査をした結果、支配的な親に育てられた子どもは自分で考える能力が低く、単独行動が苦手な自主性が育まれにくい特徴があることが分かりました。そして、13歳時に学業成績と心理社会的成熟度が低く、周囲の仲間好感度を持たれておらず、32歳時点でも良好な人間関係を築けず、パートナーを持つ確率も低かったことを報告しています。また、別の研究から子どもが大学生になるまで親が支配的で

親との衝突は、子どもの自立の通過点

子どもを支配する親の特徴として、完璧主義で高い理想を持っている人、他人の評価が過剰に気になる人、自分の今までの人生に不満が多く子どもに自分の人生を投影する人、生き甲斐は子育てで趣味や仕事など他に自分の世界がない人、夫婦の仲が上手くいっていない人、自分も親から支配されて育った人などが挙げられます。

いずれ子どもが親の庇護・支配から抜け出して自分で考え、判断し、行動する時期がきます。その時親子間で衝突がおきがちですが、



ネット・ゲーム依存症の家族会
毎月第3木曜日【参加料】1回1,000円【時間】10:00~12:00
【場所】ケアサポート清瀬【お申込】099-201-3600
月1回の、ネット・ゲーム依存の子どもをかかえた親の会です。
依存についての知識と対応の仕方を学びます。
参加希望の方はお電話ください。

http://www.myclinic.ne.jp/masuda_di/pc/
増田クリニック

TEL. 099-219-1155

〒892-0845 鹿児島県鹿児島市樋之口町2-24

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	/	○	○	○	/
14:30~18:30	○	○	/	○	○	○	/

受付時間：午前8:30~12:00 午後14:00~18:00
休 診：水・日・祝・お盆・正月

増田クリニック
携帯版HPに
アクセス
できます▼

